



気分はもう 1年生

普代児童館（野崎貞信館長、園児76人）を今春卒業し、普代小学校（村上悦夫校長、児童102人）に入学する園児16人の一日入学が2月20日、同校で行われました。園児らが1年生の教室に入ると、2年生の児童が優しく迎え、教室や体育館でジャンケンゲームなどをしました。2年生と別れ教室に戻った園

児らは緊張もほぐれ、もう1年生気分。元気な声が教室に響いていました。（写真）

別の教室ではお母さん方が、入学前の注意事項などの説明を受け入学に備えました。普代児童館の年長組26人は今春、普代小に16人、堀内小に8人、黒崎小に2人と、それぞれが新しい学舎で小学校生活を始めます。



子育て講座 熱心に

「普代村の各小中学校では、さまざまな特徴ある取り組みをしています。子どもたちは一人何役もこなしています。それをみんなで見守り、サポートしましょう」と訴えています。

村教委主催の子育て講座が2月13日、役場大会議室で開かれ、「報道の目が捉えた家庭教育」と題し、岩手日報社編集局報道部の藤原敬二部長が講演しました。（写真）

税の申告 12会場で

平成18年分の個人税住民税の申告受け付けが2月7日、落合地区を皮切りに始まりました。

27日午後1時から始まった堀内漁村センターでは、役場税務課職員が素早く計算機をはじきながら、申告する皆さんとの間で真剣なやりとりが続いていました。（写真）

今年2月13日から16日までは旭日区、中央区、上区、緑区、向野場地区が役場を会場に行われたほか、申告受け付けは3月1日の太田名部地区まで村内の12会場で行われ、その後、4日から15日までは全地区を対象に役場で行われます。

